

新学舎研究会
学舎 勉強会 (毎月セー)

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

第1回 学舎 勉強会 5月18日

(1)

学舎の経緯 (湯川)

10月30日 11:30 (豊田)

2,000円 会費

内容: 世界経済の危機について

1917

1929

1939

第1回 1968

レーン (共同定稿)

学舎の経緯: 戦後の学舎を以て

植民地主義論 著: 湯川 (米、日)

Great Depression (世界経済) 植民地主義

Russell: Road to Peace (Freedom)

第2回 学舎 勉強会

ヒューマン

学舎 勉強会 5月18日

~~北米の中心~~
「北米の中心」 (4)

大内: Resistance of 強さ → 「強さ」

大内: 共有圏内の争い

大内: 競争意識
競争のいかに自由化の程度の違い

大内: アフリカの国際物資 → 競争政策?

大内: アフリカの自由化の程度 → フランス、ドイツ

大内: IMFの状況 → 公債政策 → 一歩下り

大内: 進め (財政政策)

大内: 競争政策への強さ?

大内: アフリカの競争、輸出 → 格別しておく方

大内: 井上氏の相対的競争
相対的競争「世界の競争力」

大内: 競争政策の程度に可なり異なる

大内: 一色 → 中国 → 競争力

大内: フランス、中国の競争力 → しかし回復
競争力の回復の程度 → 競争の強さ

大内: 競争政策の程度 → 一色、中国の競争 → 競争

大内: 競争政策 → EEC → 一色圏とアフリカ

大内: 中国の競争力

(5)

新田 有也 湯川
新田 有也: ドル危機と世界経済の動向
1931年 ポーランド危機 → 月・ドル・フラン
→ 輸出禁止 → 第2次大戦
金回生と 1931年の暴落
1942年 Stalin 論文 "資本主義の崩壊" 43-53
ドル危機 → ドルの国際地位としての復讐の
成否 → 米ソ対立と米中対立 → 戦後の米ソ対立
アメリカの動向の重要性 → アメリカのドルの世界経済
は 1931年以降の歴史として、早く確立 → 世界
中心のアメリカ集中 → 戦後の "ドル・ドル
ポンド" "ドルと世界経済" (経済)
11月10日 米ソ対立
金1ドル 35ドル → 金本位制から管理通貨の
1934年12月の米連邦準備法によるドル本位制 →
1944年 戦後の国際通貨制度、ブレトン・ウッズ協定
→ 米ソ対立 → 第3国際通貨基金の確立
→ 国内の経済管理 → 貿易交渉の促進
→ 中央銀行 → 国際通貨への適用 → 1970
年代の出現 (米ソ対立) → 世界通貨の安定
1949年: アメリカの総 GDP 10億ドル (70%) 生産力 50%以上
→ IMF 規制 → 現貨取引 → 信用創造の促進
→ 米ソ対立の米ソ対立 → 長期借入の促進
1947年: IMF 枠内での米ソ対立 → Marshall plan
1947年: 米ソ対立の European への融資 → 戦後の米ソ対立

(6)

国際的な貿易政策 — OEEC — EPC — EEC —
— ANRA — カリブP. IOP — 低所得国 (LDC) —
— 開発途上国 — 1949 Truman Point Four
Policy — 年平均50%の成長率の目標 (1950-1955)
— 海外援助 (開発途上国向け、多国籍的
な形) — 米国の資金の過剰供給から過剰供給
— 米国の増産能力 — 酒 —
— 米国の増産能力の限界として — 1960年から
— 米国の増産能力の限界 — 投資LDC
の増加の引き上げの目的 — 金の流通 — 不平等の
— LDCの成長 — 金の流通 — 不平等の
1957-58: 米 30億ドルの赤字 — 米 22億ドルの
増産 — built-in stabilizer (国庫)
— LDCの成長 (米の増産 → 赤字の増加) — 米の
赤字の escalation によって LDCの増産が急激に
— gold rush — SDR — 米の増産の引き上げ
は poor white, 低所得国の増産を促す
原因: どうすれば?

米: 米の増産、米の増産
田中: 米の増産の引き上げ、米の増産の引き上げ
米: 米の増産の引き上げ、米の増産の引き上げ
田中: 米の増産の引き上げ、米の増産の引き上げ
米: 米の増産の引き上げ、米の増産の引き上げ

第2冊 (6月9日 (日))

(9)

午前： 実浪氏

1. 沖縄について、中野好孝氏
「沖縄内道20年」 荒嶋氏 310と2M内
安全な経済内道に限らず、
「安全な経済と後進国」
の調和、調和のことが、両者の混交から
無人島の閉鎖であるかの如く振舞う。一人内不況の活用
増産・増産「沖縄の戦後復興の歴史」... 沖縄戦地
に由来する名産品の導入で経済が回復... 北方領土
が先決... 施設建設が促して島の経済が回復...
と 1冊に「戦後...」 基本的な人権の真実

- 1945年： 沖縄戦終結と米軍
- 1954年： アベノハワ一島建設 米軍の移住
- 1965年： ベトナムとの関係、北越の南進
- 1957年： 米軍の移住 施設建設と移住の歴史
- 1961年： 池田・サトウチチ 米軍の潜在主権
- 1965年： 佐藤・ジョージン 沖縄返還の歴史、
琉球の発展の歴史、米軍の移住の歴史、
米軍の移住の歴史、米軍の移住の歴史
- 1967年： 佐藤・ジョージン 米軍の移住の歴史

本誌の「一冊」 - 佐藤の「一冊」 - 佐藤の「一冊」
「佐藤の「一冊」 - 佐藤の「一冊」 - 佐藤の「一冊」

(11)

：沖波村の日本工工ゴキブリ — 沖波に100年 —
明治45年国政考の — 大正10年地政学雑誌の
記事

中野：本土との「関係」(戦前・戦中)とは、一面に閉ざ
されていく

(ナース島基地 4974, ジェット推進 8トン 88輪
1900キログラム, 威力 20キログラム, 重量488kg)
機52 4974機: 6400キログラム (試作機)

大田：本土創業者 — 沖波をドル圏におく —
1億4千万ドルの本土へ流入 — “基地作戦” “経済
地獄” — 機師基地 4974 (10 — 11) 月 2000機
— カナダ (1967) 35機に ↓ 機, A 154機 —
— グラム島より上り (上り) 出撃機 —

加藤：軍事力の関係
大田：戦時中日本での本土から出た人との交流、
関係 (戦時中) 軍人ロベリン —
戦時中 戦時中の社会的地位 — 本土でいうアフリカ —
— 戦時中 戦時中の交流 — “本土はか” とは

大田：戦時中の地位の動向 — 戦時中かわる位置 —
— 戦時中 戦時中として 戦時中の地位の在りか —
— 戦時中 — 戦時中の地位の動向 —

中野：“本土はか” — 民社党の戦時中 (1967)
— 内容不明

(12)

午後： 湯川氏

永徳年号の： 沖繩と本土 (神代文)

中国人の内地の問題 — 人間の地理 — 5,13 (海防)

海防) リンカン(海防) 5,13 (二冲繩と本土)

沖繩の歴史の概観 — 1609 (慶長14年) 島津の侵入 — 元寇 — 永仁(1296) 元寇上陸 — 島津

3年の出陣 — 雲天の港に立寄 — 首里城を陥れる

— 全島を平定する — 琉球五朝の統合時代 —

幕府の支配 — 1609年(慶長14年)の侵入として述べる

が云々 — 大島から豊後島までが琉球の領地

— 中国の冊封政策 — 琉球の冊封 — 琉球の冊封

島津の侵入 — 琉球の先島諸島に琉球の領地

— 人頭税 — 琉球の冊封 (中国の冊封) — 琉球の冊封

— 1609 (慶長14年) 琉球の冊封 — 琉球の冊封

— "琉球の冊封" — 琉球の冊封 — 琉球の冊封

島と他の島々の間の差別 — 琉球の冊封 (本土)

— 琉球の冊封 琉球の冊封 — 琉球の冊封

中野:

水質: 粉塵地帯

濃地帯の湖を以て測定した

福島:

大田:

三宅春一郎氏: 放射能汚染予(予)の何れが何れか

1954: 第5期報告書 放射能 西方

1500mに及ぶ深さの湖, 水深100m以下
 (混濁層) Mの水の深さの深さ, (三宅氏)

1955 米也湖調査 予(予)の何れが何れか

調査 (Tracer 調査)

放射能汚染 水質調査 予(予)の何れが何れか

(137Cs / 90Sr)

Primary coolant:

⁶⁰ Co	⁵⁵ Fe	⁵⁹ Fe	⁵¹ Cr	¹³² Ta
5.2 y	2.9 y	45 d	27 d	11.2 d

MPC, drinking water/m ³	5x10 ⁻⁵	8x10 ⁻⁴	6x10 ⁻⁵	2x10 ⁻³	4x10 ⁻⁵
--	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

(米也湖 100m 深さの湖)
 (水深 10分の1)

C, P	200	10	10	12	5
	10,000	1,000	1,000		

MPC, sea water m ³ /m ³	10 ⁻⁷ - 10 ⁻⁹	10 ⁻⁴ - 10 ⁻⁶	10 ⁻⁵ - 10 ⁻⁷	10 ⁻⁴	10 ⁻⁵
---	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------	------------------

15

	⁶⁰ Co	⁵⁵ Fe	⁵⁹ Fe	⁵¹ Cr	¹³⁷ Cs
Savannah	100	100	5	100	100
Nautilus	10	-	0.5	0.3	-
Swordfish of the sea					
海水 40 litre (5/15/77)					
Fe 59	0.94 ± 0.04	→ (Pb-210 汚染) IR 汚染 (地-210)			
Co 60	0.12 ± 0.04	} (fallout 汚染)			
Ni 63	0.18 ± 0.04	}			
Zn 65	0.05 ± 0.02	}			
I 131	0.01 ± 0.01	}			
Cr 51	-	}			

fallout 汚染 1 μmc/l 程度

Fe fraction の減衰		cpm
5.15	25.7 ± 1.15	20,00 ± 1,02
5.28	17.9 ± 1.07	16,20 ± 1,08
6.3	18.6 ± 1.15	14,20 ± 1,02

Fe-59 の減衰率 - 92. (γ-90 217717)

海水 (92) Sr-90 Cs-137 Co-144

機内海水

洗剤水中の Cs

湯川: 機内海水中の Cs 汚染はどの程度? 三宅: 5L

16

小沢: 高専機密

見出し: 原子力研究所, 海
穴の方へ出可
原子力研究所 在野, 1971
1) Sr⁹⁰ 汚染, Puの汚染. (50~1000 kW)
2) 原子力部
大分けんご 英彦.
AEC Report

小沢: 沖原の原子力汚染

分り (6月10日) 湯川 政司
田代 武三郎: 日米安全保障協定の及ぶ
交換公文

1960 年 (安保改定)
防衛省 (防衛)

1949 年 5月 末 国防力増強の増強の増強

米安全保障協定の... (PAC. グラフ)

米の強から... 米の強から... 米の強から...

PACの強から... 1949年 5月 末から...

... (1) 在の... 中国人民共和国の...

... (2) ...

(1960年 Kennan 曰く) McArthur は 1948年

... 米国の... 1949年

... 米国の... 1949年

... 米国の...

... 米国の... 1949年

... 米国の... 1949年

1951. 9. 8. ...

1952 ...

... 米国の... 1949年

21

四冲
大田) 冲能非定運動 — 沿河球 — “ η 流 ω 流”
— 粒小 δ
江口
河津) 其 ω 流 — 非定 ω 流 ω 的 ω 流 ω
河津 ω 流 ω 流 ω 流 ω 流.